

第5回 宮代町上下水道事業審議会 会議録

開催日時：令和 8 年 8 月 2 4 日（月） 1 4：0 0～1 6：0 0

開催場所：宮東配水場 管理棟会議室

委 員：佐野 好一、福田 勉、門井 一慶、赤井 美津江、磯 雄二、折原 正英、
岡野 裕美子、石坂 誠、古茂田 裕一、岩本 禮
（欠席 尾崎 文夫、宮島 裕）

事 務 局：小川課長、和田室長、石井主幹、斎藤主査、磯主事
（株）日水コン：今井、香坂、志水、田口

次 第

- 1 開 会
- 2 議 事
 - （1）水道料金体系素案について
資料 1 水道料金体系素案
 - （2）下水道料金体系素案について
資料 2 下水道料金体系素案
 - （3）宮代町下水道事業経営戦略（改定案）について
資料 3 宮代町下水道事業経営戦略（改定案）
- 3 その他
- 4 閉 会

会議概要

- 1 開 会
- 2 議 事
 - （1）水道料金体系素案について
事務局から、資料 1 の内容について説明した。
委員からは、将来の物価や社会情勢の不確実性を考慮し、「料金算定期間は 3 年とする」方向で意見が一致した。
また、固定的な費用の回収（安定供給の確保）の観点から「ケース A－1」が支持された。
 - （2）下水道料金体系素案について
事務局から、資料 2 の内容について説明した。
委員からは、水道料金体系と同様に、将来の物価や社会情勢の不確実性を考慮し、「料金算定期間は 3 年とする」方向で意見が一致した。
また、少量使用者への配慮の程度を水道と同様とする「ケース A－3」が支持された。
農業集落排水料金体系案については、将来的には公共下水道への接続予定もあることから、改定もやむを得ないとの意見があった。

- (3) 宮代町下水道事業経営戦略(改定案)について
事務局から、資料3の内容について説明した。

3 その他

次回の開催予定日の確認(11/16(月)、11/17(火)、11/18(水)のいずれかの日で14:00～)について

4 閉会

質疑応答

議題(1) 水道料金体系素案について

Q: 資料1の1ページ及び2ページについて、使用水量区画別の料金改定率が高くなる赤色表示の対象者について、家庭、店舗、集合住宅等の具体的な使用者像と対象件数を説明してほしい。

A: 該当する件数は非常に少なく、令和6年度検針数のうちおよそ1.5%となっています。

Q: 資料1の1ページにある試算条件④で、「従量料金は40立方メートルまでを可能な限り低く設定します。」とあるにもかかわらず、料金改定率が高くなる層もあることから、表現がおかしいのではないかと。

A: 従量料金を可能な限り低く設定しているものの、今回の料金体系の見直しにより、メーター口径が25ミリメートル～40ミリメートルで2か月あたりの使用水量が20立方メートルの場合は、料金改定率が高くなります。これは、料金算定要領に基づいて、一度に水を多く使うためには、管路の口径を大きくするなど、水道施設に費用を投じる必要があることから、メーター口径が大きいほど料金が高くなる設定としているためです。

Q: 料金算定期間を3年にするか5年にするかの比較と、A-1、A-2、B-1、B-2の違いをわかりやすく簡単に整理してほしい。

A: ケースAの料金算定期間3年の場合は、料金改定率が低く抑えられるが、頻繁な改定に伴う手続きや周知コストがかかります。ケースBの料金算定期間5年の場合は、料金改定率が高くなるが、手続きや周知コストが抑えられるというメリット・デメリットがあります。また、A-1とA-2の違いは、少量使用者への配慮の程度です。A-2のほうが10立方メートル以下の使用者に有利な料金構成となっています。将来の物価や社会情勢の不確実性を考慮すると、3年ごとに料金を見直すことが妥当であると考えられます。

議題（２）下水道料金体系素案について

Q：下水道料金体系案について説明してほしい。

A：水道料金と同様に基本水量を廃止し、経営安定性の観点から基本料金の割合を維持しつつ、段階的な改定を目指す案（３年算定のケースＡ－１～Ａ－３、５年算定のケースＢ－１～Ｂ－３）を提示しています。

Q：基本料金１，３７２円というのは、水を使わなくても発生する料金という理解でよろしいですか。

A：そのとおりです。契約している以上、使用量がゼロであっても基本料金は発生します。

Q：農業集落排水料金体系案について説明してほしい。

A：現行の料金体系は世帯数及び人数割方式となっています。現在の収入では維持管理費を十分に賄えない状況であるため、平均約３３％の改定案を提示しています。

議題（３）宮代町下水道事業経営戦略（改定案）について

Q：今後のスケジュールはどうですか。

A：１０月にパブリックコメントを実施し、住民意見を反映させる予定です。

Q：資料３の１７ページのグラフは、１６ページの経常収支比率グラフが誤って掲載されています。

A：資料３の１７ページの図表に誤りがありましたので訂正いたします。

Q：経営戦略には５年改定を前提とした財政計画・ロードマップの記載がある一方、審議会では３年での料金改定が決定しており、修正が必要になるのでしょうか。

A：財政計画等について再計算を行い、整合を図る予定です。

以上